

科目名	近代日本の歴史と社会 —子育て・しつけ・学校教育—			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	4月8日～6月10日		
	英文科目名	History and society of modern Japan parenting, discipline and school education in Japan-		モバイル配信授業 —	開講時間	水曜日 第3講時 17:30～19:00		
受講定員等	担当教員	板倉 栄一郎		eラーニング —	開講場所	石川四高記念文化交流館 2階 多目的利用室4		
	単位数	1単位		成績評価の方法	・授業態度(出席率等): 20% ・授業参加度(討議・プレゼンテーション等): 40% ・レポート課題(2回出題): 40%			
定員数	30名							
	特別聴講学生等定員	10名						
	科目等履修生定員	10名						
	シティカレッジ聴講生定員	10名						
	定員超過時の選考方法等	受付順						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:			受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	<p>本講座は、近代から現代に至るまでの日本社会における、子育て・しつけ・学校教育の歴史を、都市と地方との比較やアメリカをはじめとする諸外国の動向を視野に入れながら概観することで、現代の日本社会の課題やこれからの子育て・しつけ・学校教育の在り方について考えることを目的とする。</p> <p>日本の近代国家は、西欧の思想や技術を導入することのみで成立したわけではなく、日本社会に古くから根付いた習慣や伝統を台座にして成立したという事実を見逃してはならない。とりわけ、人間関係については、江戸時代以来の古い人間関係の在り方が残ったまま近代国家に継承されている。また、日本社会には西欧には存在しないとされる「世間」が存在し、それが様相を変えながら現代にも根付いているとされる。すなわち日本社会は、西欧から新しい制度を導入したが、人間関係は旧来の人間関係をそのまま継受しながら「世間」における場の意識を共有したのであり、そこに「日本社会の二重構造」という側面が見出せるのである。この日本独自の「二重構造」を理解することで、現在の日本社会が抱えている諸問題にアプローチできるのではないかと考える。</p> <p>通史的に授業を展開していくので、各時代で学習すべきキーワードを授業の最初に提示する。各々のキーワードが繋がる時に、現代社会の課題について考える糸口が見えてくるものと思われる。その解決方法を受講生の皆様と一緒に考えていきたい。</p>						その他特記事項	
							<p>受講する際には、高等学校卒業程度の明治以降、現代に至るまでの歴史について振り返っておくことが望ましい。尚、テキストは使用せず、適時、参考著書や論文等を紹介する。</p>	
授業担当教員紹介			URL					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail					